

授業科目 発達障害作業療法評価学

【担当教員名】 永井 洋一		対象学年	2	対象学科	作業	
		開講時期	後期	必修選択	必修	
		単位数	1	時間数	15	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		態度		
◎		◎		○		
【概要・一般目標：G10】 発達障害に対する作業療法評価を実施するために必要な基礎知識を身につける						
【学習目標・行動目標：SBO】						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害に対する作業療法における評価の特徴を説明できる。 2. 発達評価のためのスクリーニングと領域別評価の目的を説明できる。 3. 姿勢・運動の発達とその評価方法を説明できる。 4. 微細運動の発達とその評価方法を説明できる。 5. 知覚・認知の発達とその評価方法を説明できる。 6. 心理社会的能力の発達とその評価方法を説明できる。 7. 日常生活活動・適応行動（遊びを含む）の発達とその評価方法を説明できる。 8. 保護者との面接・児童の観察方法について説明できる。 						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	発達障害の作業療法評価総論				1	講義
2	スクリーニングと領域別評価（評価の種類と内容概略）				2	〃
3	運動と姿勢の発達とその評価				3	〃
4	目と手の協調性の発達とその評価				4	〃
5	知覚・認知の発達とその評価				5	〃
6	心理社会的能力の発達とその評価				6	〃
7	日常生活活動・適応行動の発達とその評価〔遊びを含む〕				7	〃
8	保護者との面接・児童の観察方法				8	〃
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		作業療法学全書第3巻 作業療法評価学：第3版	日本作業療法士協会（編）	協同医学出版社	2008・3,800円＋税	
参考書		発達障害と作業療法：基礎編 PT マニュアル 小児の理学療法	岩崎清隆 河村光俊	三輪書店 医歯薬出版	2001・3,300円 2002・3,990円＋税	
その他の資料		授業中に配布する				
【評価方法】 出席：10% 授業中の課題（レポートなど）：20% Minute Paper：20% 期末試験：50%			【履修上の留意点】 小児科学の単位を取得していなければならない。			